

2章-1 基本コンセプト

古代から未来へ 人とまちがきらめくはりま

- 播磨町で働きたい
- 播磨町で住みたい
- 播磨町で子育てしたい
- 播磨町で住み続けたい

2章-4 計画の特徴

「第4次播磨町総合計画」でも、行政と住民の協働の重要性が強調されており、町の創生に向けては、住民、関係団体や民間事業者等と行政が連携して進めていくものとします。

2章-2 計画期間

平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年）

2章-3 推進体制

- ・各施策に重要業務評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルにより施策の検証、見直し等を行います。
- ・住民の意見もふまえながら、総合戦略を客観的に効果検証します。

1章 計画の位置づけ

- ・国が「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）を基に、本町における、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指します。
- ・「播磨町人口ビジョン」に基づき、今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめます。
- ・平成23年度を始期とする「第4次播磨町総合計画」を最上位計画として位置づけます。

3章 基本目標（案）

【総合計画（基本計画）】

基本目標1：豊かな心と人を育むまち

政策1：学校教育の充実したまちをつくる

政策2：学べる環境の充実したまちをつくる

基本目標2：やすらぎがあり、健やかに暮らせるまち

政策1：健康・医療・福祉の充実したまちをつくる

政策2：安全・安心対策の充実したまちをつくる

政策3：生きがいをもって安心して働けるまちをつくる

基本目標3：人や環境にやさしく、快適なまち

政策1：自然をいかしたうるおいのあるまちをつくる

政策2：資源を循環できるまちをつくる

政策3：快適で人が集うまちをつくる

基本目標4：つながりを大切にするまち

政策1：人権を大切にするまちをつくる

政策2：情報や人との交流が盛んなまちをつくる

政策3：まちづくりに住民が参加できるまちをつくる

基本目標5：健全な行政経営による持続可能なまち

政策1：持続可能な行政財政運営を進めるまちをつくる

【総合戦略との関係】

1

- ・「播磨町で子育てしたい」と子育て世代が思い、子育てしやすいまちとして、出生率の維持・向上を進めます。
- ・若い世代の結婚・出産の切れ目ない支援を継続するため、「結婚」「出産」の視点を追加します。

2

- ・「播磨町で住み続けたい」と誰もが思うまちづくりには、安全・安心なまちであること、高齢者が活躍でき支え手となることで地域の活力を維持すること、「ベットタウン」としての魅力あるまちであることが重要です。

3

- ・若い世代も含め、播磨町で生活するためにはその基盤となる「仕事」の創出が条件の一つであり、「播磨町で働きたい」と思う産業の活性化が重要なポイントとなります。

4

- ・町外から「播磨町に住みたい」と思う転入者を増やすために、土山駅南交流スペース等で播磨町の魅力をPRし、広く周知することが必要です。
- ・町外に転出した子ども達が、将来、「播磨町に住みたい」と戻ってくるためには、若年層がまちの魅力を再発見し、郷土愛を育むことが効果的と考えます。

・持続可能な行政財政運営は、施策の基盤となり総合戦略だけでなく、全ての計画の基本となる事項であるため、総合戦略では特筆しません。

【基本目標】

1

若い世代「ひと」を応援し、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る

若い世代が希望をもって、結婚、出産、子育てをすることができる播磨町を目指し、多様な世代に必要な支援を行います。
*「国：政策③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に該当

2

安全・安心を確保し持続可能な「まち」を創る

防災力を高め住民の安全・安心を確保します。高齢者が安心して住めるまちとして、公共交通の充実と暮らしの利便性を図ります。
*「国：政策④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」に該当

3

資源を活かした産業の振興で「しごと」を創る

人口減少や地域経済縮小の克服には、安定した雇用や、安定した収入が必要です。多くの人々が安心して働くことができる環境整備に向け、住民・事業者・町が一体となって取り組みます。
*「国：政策①地方における安定した雇用を創出する」に該当

4

魅力を伝え、選ばれるまちとして「ひと」の交流・移住・定住の流れを創る

歴史や自然といった多くの魅力を積極的に発信し、交流や移住・定住を促進します。また、町内の子ども達が将来帰りたい、住み続けたいと思える郷土愛を育む取り組みを推進します。
*「国：政策②地方への新しいひとの流れをつくる」に該当

【数値目標】

合計特殊出生率

コミバス年間利用者
自主防災組織率

町内総生産
住民の町内での就業者数
産業構成比

人口の社会増

4章 基本的方向（案）

4章 具体的な施策（案）

<KPI（素案）>

1

- 次世代を担う教育を充実します
- 子育てしやすい環境を創ります
- 子育てを、多世代が支援するしくみづくりを進めます
- 結婚から出産・子育てを一体的に支援します

取組施策 播磨町の結婚・出産・子育て関連事業の周知 ～施策PR冊子等の作成～
主要施策

- ① 次世代を担う教育を充実
 - ・ 特色ある教育のさらなる充実・発展：【新規】サポートチーム播磨（仮称）事業
- ② 子育てしやすい環境
 - ・ 子育ての不安を取り除く：母子保健事業の充実
 - ・ 子育てに関する情報提供の充実：【新規】子育て支援施策冊子の作成
 - ・ 多子世帯への経済的支援：幼稚園保育料の軽減
 - ・ 小学校・中学校での安心安全な給食の提供
 - ・ 医療費の無料化：乳幼児医療費助成事業・こども医療費助成事業
 - ・ 将来を担う若者の学びを支援：奨学金貸付事業
- ③ 子育てを多世代が支援できるしくみづくり
 - ・ 地域子育てボランティアを養成：【新規】子育てコンシェルジュを配置
- ④ 結婚から出産・子育てを一体的に支援
 - ・ 保健師による切れ目ない支援：【新規】子育て包括支援事業
 - ・ 若者の出会いを応援する【新規】はりま出会いサポート事業
 - ・ 子どもがほしいという願いを応援する：不妊治療費助成事業
 - ・ 安心して出産できる：【新規】はりまここのとりタクシー券の発行

- ・ 20～39歳の女性人口
- ・ 初婚年齢
- ・ 婚姻数
- ・ 出生数
- ・ 転入者数（子育て層）
- ・ 子育て支援施策冊子の配布数
- ・ 奨学金貸付者数
- ・ 子育てコンシェルジュ案内数
- ・ はりまここのとりタクシー券利用数
- ・ はりま出会いサポートカップル成立数
- ・ 不妊治療費助成件数
- ・ 父子手帳交付数
- ・ ファミリーサポート実施数

2

- 安全・安心対策の充実したまちを創ります
- 公共交通の充実など、利便性の高い快適なまちを創ります
- 健康で生きがいをもって暮らせるまちを創ります

取組施策 播磨町の住みやすさを周知 ～施策PR冊子等の作成～
主要施策

- ① 安全・安心対策の充実したまち
 - ・ 地震に強いまちをつくる：住宅耐震推進事業
 - ・ 地域の防災拠点の形成：【新規】土山駅南防災公園整備事業
- ② 公共交通の充実など利便性の高い快適なまち
 - ・ 町民の移動を支える公共交通の充実：【新規】コミュニティバス運行事業
- ③ 健康で生きがいをもって暮らせるまち
 - ・ 町民の憩いの場の拡充：【新規】うみえーる広場、あえのはま広場整備事業

- ・ 自主防災組織率
- ・ 犯罪発生件数
- ・ 防災安心ネットはりま登録者数
- ・ 住宅耐震改修促進事業実施数
- ・ コミュニティバス利用者数
- ・ 中央公民館利用者数
- ・ 土山駅利用者数
- ・ 播磨町駅利用者数
- ・ 健康いきいきセンター利用者数

3

- 町の産業を活かし、若者の就業の場を見いだします
- 地域経済の維持・活性化に向け地域の産業を支援します
- 事業者のイノベーションや新事業の創出を支援します
- 女性の社会進出や働きやすい環境整備を支援します

取組施策 町民と企業の交流促進 ～産業紹介PR映像の作成～
主要施策

- ① 町の産業を活かし、若者の就業の場を見出す
 - ・ 賑わい・交流拠点の整備：【新規】土山駅南町有地の活用事業
 - ・ 就業支援の推進：町内企業の地元採用枠の拡大の要請
 - ・ 企業立地の促進：【新規】企業誘致事業
- ② 地域経済の維持・活性化に向け地域の産業を支援
 - ・ 特産物の普及：【新規】物産協会認定制度
 - ・ 良好な住環境の形成支援：住宅リフォーム助成制度
- ③ 事業のイノベーションや新事業の創出
 - ・ 町内の企業支援：【新規】経営革新・創業支援事業
- ④ 女性の社会進出や働きやすい環境整備を支援
 - ・ ワークライフバランスの周知・啓発

- ・ 異業種交流会数
- ・ 大学企業との共同研究数
- ・ 商工会認定商品の認定数
- ・ 新規創業者数
- ・ 起業準備オフィス入居数（商工会）
- ・ 町内企業との情報交換回数

4

- 「ふるさと播磨町」への愛着と誇りを育てます
- 町へのUターン等、若年層の定住を支援します
- 地域のコミュニティの活性化を図ります
- ひとが輝くまちづくりを進めます
- 町の魅力を積極的に情報発信します

取組施策 播磨町の魅力をアピール ～町のPR映像、歴史PR映像の作成～
主要施策

- ① 地域への愛着の育成
 - ・ 播磨町の良さを再発見：播磨町いいところ写真募集
- ② 町へのUターン等、若年層の定住支援
 - ・ 町とのつながりを継続：【新規】同窓会支援事業
- ③ 地域のコミュニティの活性化
 - ・ 交流の推進：【新規】土山駅南交流スペース活用事業
 - ・ 空き家活用によるコミュニティ形成：【新規】空き家活用支援事業
 - ・ 住民協働のまちづくり支援：まちづくり講演会

- ・ ホームページ閲覧数（PR映像再生数）
- ・ 郷土への愛着をもっている若者の割合増
- ・ 若年層人口の増
- ・ 転入者数（総数）
- ・ 町内企業に勤務する従業員の内、町内居住者の割合
- ・ 観光入り込み客数
- ・ 同窓会開催数